



江東エコリーダースの会は地元の環境・生物多様性に係ります

江東エコリーダース・ニュース 6号

水彩都市江東 安全・安心まちづくりは 人と人の交流から

発行 江東エコリーダースの会 江東区潮見1-29-7

E-mail: mail@koto.eco.to

「生物多様性ミニシンポジウム」 ～地域での企業のかかわり方～

日時： 7月23日

所： フジクラ千年の森、教育センター

主催： 生物多様性チーム江東

はじめに



江東エコリーダースの会も団体会員として参加している生物多様性チーム江東は、江東区の市民団体と企業、行政の協働で組織された団体で、多様な生き物や生態系を保全し、その恩恵を将来の世代にわたって継承していくことを目的に活動してきた。今回は担い手としての企業のかかり方を探った。

第1部 ビオガーデン見学会 深川ギャザリア内ビオガーデン「フジクラ千年の森」

第2部 ミニシンポジウム

1. ビオガーデン「フジクラ千年の森」の概要と苦労話

田邊雄策（フジクラ開発）、八色宏昌（㈱グラック）、大恵朋彦（㈱富士植木）

- ・ 千年の想いを込めて、関東在来種植物と荒川流域魚類に限定して設計施工した。
- ・ 高中木 500 本、低木 2000 本、地被水草 15000 株、魚類 600 匹、貝類 2500 匹。
- ・ 生物の生息空間。常緑樹を多用、山間のイメージ。山間の溪流をイメージ。
- ・ 豊かな生態系再現のために山間の表土移植。浄化・滅菌・循環装置は心肺装置。
- ・ 材料集めには大変苦労した。今後は維持に努力していく。
- ・ 市民との信頼、失敗を恐れない、情報公開、人材づくり

2. 京浜の森協働事業について

横浜市環境創造局 京浜の森づくり担当 園部弘明

JFE エンジニアリング環境保全グループM 相馬勝彦

JFE トンボみちファンクラブ 桧垣宏子

- ・ 京浜臨海部の自然再生活動として、緑の七大拠点と源流域とする5水系の河川が東京湾を通じて出会うエコロジー大拠点を設けている。工場などには90ha以上の緑地が確保。
- ・ 工場には屋上ビオトープ、修景地ビオトープなどがあり、「トンボはどこまで飛ぶかプロジェクト」を展開し、市民と企業、行政の連携でトンボ調査を継続してきた。その中で市民ボランティアと企業の連携が進み、維持管理し、自然再生の力になっている。
- ・ 地域（市民、事業者等）が支えることを支援する。

ここで遊ぶ人、ここを活用する人、
ここでの活動を支援する人、ここを誇りに思う人
環境まちづくり：丘と緑、生態系、市民の暮らし、
環境教育、社会活動、コミュニティ

- ・ 市民が工場の環境保全に希望を言い、自分の自然として保全に協働するのが当然になっている。

- ・ 第1回「関東・水と緑のネットワーク拠点百選」に選ばれた。

パネルディスカッション 上記の方々

- ・ フジクラ：計画段階では地域の人との交流が少なかったが、今は大変喜ばれている。これからは区民の方々のボランティアによるメンテについても模索していきたい。

